

農村振興局長賞（被害防止部門（個人））

農家自らエゾシカ・アライグマ被害から自衛するため、わなの設置指導やわな免許取得など人材育成に尽力。活動は全道に広がり、14年間でのべ100回を超える講習会や現地指導を実施。

主な取組

はらだ かつお
原田 勝男

いわみざわし
北海道岩見沢市

- 氏は、平成16年にエゾシカ被害に苦慮する近隣農家からの要請を受けて「丘陵地有害駆除対策連絡会」を設立し、農家自らが農作物を自衛するために、農家が扱いやすいくくり罠の設置やわな免許の取得等を指導。
- 平成18年度には「NPO法人岩見沢ネイチャーサポート会」を立ち上げ、岩見沢市及び近隣地域へ活動を展開。熱心で丁寧な指導が評判となり、平成21年度には「NPO法人ファームリングサポート北海道」と改め、活動を全道に広げている。
- 14年間にわたる活動で、講習会や現地指導は100回を超えており、人材育成や農業被害減少に貢献。
- 農林水産省の農作物野生鳥獣被害対策アドバイザーとして登録され、近年は道内で被害が増加し問題となっているアライグマの捕獲技術の普及にも貢献。

【わな免許所持者】

空知管内 平成18年度：約160名 → 平成29年度：約540名

北海道内 平成21年度：約1,700名 → 平成29年度：約4,400名